

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成		課(室)名	デジタル社会基盤整備室
	施策	コンパクトシティの推進		電話番号	087-839-2455
	取組方針	計画的な土地利用の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地理空間データ基盤整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	当該事業は、スマートシティを推進する上で課題となっている、行政の管理する紙の台帳類（ベース・レジストリ）について、「業務のBPR」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を展開し、都市経営視点でのDXの推進及び都市政策の施策感度の向上を目指す。				
年度概要	GIS等保守管理費 WebAPI保守管理費				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	都市計画法、測量法

【事業の目的】

対象（何を）	行政が管理しなければならないインフラ関連の台帳類（ベース・レジストリ）
意図（どのような状態にしたいか）	「業務のBPR」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
地理空間データ基盤に登載する目的で協議した団体数	団体	0	0	30	25	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
成果指標	地理空間データ基盤に登載した地図情報等の数（累計）	件	目標値 実績値	0 0	0 0	45 50	60	75
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	庁内各課や民間事業者との連携による地理空間データ基盤を活用した新たなサービスの提供に伴い、地理空間データ基盤に登載した地図情報等が50件となり、目標を上回った。			（目標達成度） 111.1% （得点） 35点				
成果指標	地理空間データ基盤上で提供されるサービス数（累計）	件	目標値 実績値	0 0	0 0	6 9	8	9
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	庁内各課や民間事業者と地理空間データ基盤活用による業務改善や地域課題の解決に向けて協議を進めることにより、基盤上で提供されるアプリケーション数が9件となり、目標を上回った。			（目標達成度） 150.0% （得点） 35点				

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	32,930	156,207	52,305	55,235
(事業費)	[千円]	0	123,088	12,161	17,793
(職員人件費)	[千円]	32,930	33,119	40,144	37,442

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
令和 6 年度	GIS等保守管理費 WebAPI保守管理費	4,642千円 7,519千円	総額	12,161	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	12,161				
令和 7 年度	GIS等保守管理費 WebAPI保守管理費	4,972千円 12,821千円	総額	17,793	
			特定財源	国	0
				県	314
				市債	0
				他	0
一般財源	17,479				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

都市経営の最適化を図るため、令和4年度に整備したデータ連携を可能とする基盤を活用し、中心市街地の公営駐車場及び民間駐車場の満空情報を地図上で可視化する駐車場情報アプリケーションを県、民間事業者と連携し構築した。アプリケーションのアクセス数は運用開始(2/12)から3月末までで約5万4千件となり、駐車場利用者に活用いただいている。今後、これらの取組を庁内外に情報発信することにより、基盤の活用を促進し、業務改善や新たなサービスの創出に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

今後、既に実装済みのアプリケーションの高度化に取り組み、業務改善及び利便性向上を図る。また、アプリケーションを庁内外に情報発信することにより、基盤の活用を促進し、業務のBPRとあらゆる分野での新たなサービスの創出により、持続性の高い地域課題の解決に取り組む。